

くま川鉄道安全報告書

2022 年度

1. 利用者みなさまへ

当社の鉄道事業につきましては、日頃よりご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に「安全第一」を掲げ、法令の遵守とともに安全・安定輸送に努めております。

ただ、令和2年7月の豪雨によりまして、球磨川第四橋梁はじめ多くの線路施設に多大の被害を受けました。令和3年11月28日より肥後西村駅～湯前駅間におきまして、部分運行を開始しましたが、現在も人吉温泉～肥後西村駅間におきましてはバスによる代替輸送を実施しており、沿線の高校生をはじめ、多くの利用者の皆さまにご不便をおかけしており、大変申し訳なく思っております。完全復旧に向けては、数年かかるものと思われま

す。完全復旧に向けては、数年かかるものと思われま

す。完全復旧に向けては、数年かかるものと思われま

くま川鉄道株式会社
取締役社長 永江 友二

令和4年度 安全基本方針

令和2年7月の豪雨により、球磨川第四橋梁流失をはじめ、車両の浸水や球磨川橋梁前後の道床流失や土砂堆積等被害が甚大であります。

令和3年11月より肥後西村～湯前駅間におきましては、部分運行を再開しましたが、現在、全線復旧に向け関係者の皆さまの協力を得ながら早期復旧に向け取り組んでいるところであります。

本復旧までには、数年かかる見込みであります。これまで地域の「足」として親しまれてきましたが、利用されるお客さまに平成元年10月開業以来、これまで「安全第一」

を基本に、地域に根ざした鉄道としてお客さまに快適に利用頂ける鉄道を目指し、地域の皆さまの協力のもと、地域の公共交通機関としての「足」として、より安全で快適な、そして便利な鉄道として今日まで運行してまいりました

言うまでもなく、安全こそが経営の基盤であることを社員一人ひとりが自覚し、取り組んでいかなければなりません。

しかし、現状被災により全線運行ができない状況であり、代替バスを運行しておりますが、通学生の足としては、定時性・速達性・大量輸送等考量した場合、列車と比較すると大きな課題があり今後、早期復旧に向けしっかりとした計画のもと、災害に強い線路づくりをしていかなければなりません。

国、県、地元沿線自治体の理解・協力のもと財政支援はもちろん、地元には絶対なくてはならない鉄道として、皆さまの応援・理解を得て早期復旧に向け取り組んでまいります。

【令和4年度スローガン】

早期復旧に向け、社員一丸で取り組もう

『重点実施項目』

1. 運輸安全マネジメントの強化

- (1) 社員の安全意識の高揚に努めます。
 - ・部外研修に積極的に参加します。
 - ・乗務員定例訓練を活用した安全意識の高揚に努めます。
 - ・列車添乗を定期的に行い、指導徹底を行います。
 - ・新人教育の充実を図ります。
- (2) 社員のコミュニケーションの強化を図ります。
 - ・個人面談、会議等を活用したコミュニケーションを図ります。
 - ・定例的に管理者との意見交換会等開催し、早期の問題解決を図ります。
 - ・明るく、楽しく仕事ができる職場環境、雰囲気づくりに努めます。

2. 安全・安定輸送を確保する取組みの強化

- (1) 運転取扱いの厳正
 - ・乗務員定例訓練の充実・駅社員を含めた中での指導徹底を図ります。
 - ・決められたルールの厳守、基本動作の徹底に努めます。
 - ・異常時取扱い訓練の実施（消防署・警察と共同での訓練の実施）
- (2) 車両・設備に対する事故防止への取り組み
 - ・定期検査における過去の故障等の再発防止と保全の実施を図ります。

- ・年間を通した施設の定例検査の充実と実施に努めます。
- ・老朽設備の効果的な取替えによる保全の実施を図ります。
- ・定期的な線路巡回による設備事故の早期発見に努めます。(徒歩月1回、列車毎週 木)

(3) 社員の取扱い誤り事故の撲滅

- ・指差喚呼による確実な確認と基本動作の励行に努めます。
- ・ATSの正しい取扱いに努めます。
- ・新人教育における安全意識の高揚を図ります。
- ・決められたルールの厳守・徹底を図ります。
- ・列車添乗の強化に努めます。

(4) 請負会社への事故防止の徹底

- ・現場への安全パトロールの実施を図ります。
- ・請負会社事故防止会議への参加指導を行います。
- ・施行打ち合わせ時の事故防止指標のチェックと確認を行い指導を図ります。

3. 人材の育成・技術の継承

- (1) 新人教育の充実を図り、将来を担う人材の確保・育成を図ります。
- (2) 技術継承の積極的な推進を図ります。

4. 重大労災事故の撲滅

- (1) 基本動作の徹底と意識の高揚に努めます。
- (2) 事故事例の有効活用による訓練の実施で事故防止の徹底を図ります。
- (3) ヒヤリハット提出による未然の事故防止を図ります。

5. 危機管理体制の強化

- (1) 鉄道テロや大規模な災害に備えた体制の強化
 - ・緊急連絡体制の周知・徹底を図ります。
 - ・異常時における職務分担の具体化に努めます。
- (2) 自然災害や異常時における復旧体制の強化
 - ・消防署と連携した異常時訓練の実施をします。(秋)
 - ・JRと連携した脱線復旧訓練等への参加による情報収集及び適切な復旧対応に心がけます。
- (3) 異常時に備えた訓練の実施
 - ・運転士・駅社員を対象にした事故防止意識の高揚・現車訓練などの実施

・消防署等との合同訓練の実施（秋）

『数値目標』

1. 重大事故(列車衝突・列車脱線・列車火災)の撲滅……………目標0件
2. インシデントの撲滅……………目標0件
3. 設備事故の無事故継続……………目標0件
4. 労働災害事故の撲滅……………目標0件